

岐阜大学ラボツアーのご案内

岐阜大学柳戸キャンパスに移設した新しい大学院医学研究科の5講座によって、医学に関する研究概要と最近の研究成果の一端を公開します。
また、見学会に引き続いて関係教官と親しく懇談いただく交流会を設けます。

1. 日程：

2004年10月7日(木) 14:00~18:00

2. ラボツアー対象研究施設：

医学部本館 (柳戸キャンパス)

3. ラボツアーの形式：

- 1) ラボの紹介方法：研究現場の見学とポスターによる説明
ラボ(研究室)において、研究概要と最近の成果を説明する。
- 2) 紹介するラボ：5講座(主題は別紙参照)
- 3) ツアーの方法：参加者を5班に分け、班ごとに巡回
- 4) 見学会に引き続き交流会を実施(ビールも出ます)

4. 締め切り、申込、問合せ先

準備の都合上9月15日(水)までにFAXまたはE-mailにて申込
をお願いします。(先着50名様)

FAX：058-293-2032

E-mail：ccr-jimu@cc.gifu-u.ac.jp

問合せ先：岐阜大学産官学融合センター

神谷浩二 TEL：058-293-2027

E-mail：kkamiya@cc.gifu-u.ac.jp

安井秀夫 TEL：058-293-2034

E-mail：hyasu@cc.gifu-u.ac.jp

岐阜大学 第6回ラボツアー (大学院医学研究科)

(平成16年10月7日開催)

1. 分子・構造学講座 - 内分泌代謝病態学分野

題目：糖尿病の体質診断

概要：2型糖尿病は遺伝素因の濃厚な疾患である。インスリン分泌不全や動脈硬化の発症に関する遺伝子の収集、候補遺伝子の変異解析、遺伝子多型を用いた疾患感受性の関連解析による疾患体質診断法の開発を紹介する。

担当教員：武田 純 教授

2. 病態制御学講座 - 整形外科学分野

題目：骨軟部腫瘍の遺伝子解析と治療の開発

概要：骨軟部腫瘍、特にユーイング肉腫に発現する癌遺伝子産物の機能について概説する。さらに、これらの遺伝子をターゲットとした分子標的治療法の研究を紹介する。

担当教員：清水克時 教授 大野貴敏 助手

3. 腫瘍制御学講座 - 消化器病態学分野/血液病態学分野

題目：炎症担当細胞の分取と種類別機能解析

概要：様々な炎症に際しては、T細胞、B細胞、マクロファージ、NK細胞、好中球などの各種の炎症細胞が動員され、異なった役割を果たす。炎症の機序を解明し、制御法（抗炎症療法）を開発するためには細胞毎の機能解析が不可欠である。この技術（フローサイトメーター）と動物実験、臨床例への応用を紹介する。

担当教員：森脇久隆 教授

4. 再生分子統御学講座 - 病原体制御学分野

題目：遺伝子情報を使った微生物の網羅的なモニターシステムの開発

概要：多彩な病原微生物及び一般細菌を培養法で網羅的に解析しモニターすることは不可能に近い。そこで、近年のナノテクノロジーと遺伝情報を駆使し網羅的にこれらの微生物を解析する手法を研究開発している。

担当教員：江崎孝行 教授 大楠清文 助手

5. 再生応用学講座 - 循環病態学分野/呼吸病態学分野

題目：循環器・呼吸器・腎臓疾患における細胞死と再生ならびに遺伝子治療

概要：循環器・呼吸器・腎臓疾患における細胞死と再生の機構解明を含めた基礎的研究とその知見に基づいた非侵襲的治療への応用の研究。治療に関しては細胞死・再生にかかわる遺伝子治療も併用して行っている。

担当教員：藤原久義 教授

岐阜大学産官学融合センター行
FAX : 058 - 293 - 2032
(E-mail も可)

期限 : 9 月 15 日(必着でお願いします)

第 6 回ラボツアー参加申込用紙

会員名 (会社名、所属機関名) : _____

参加者ご芳名 : _____
(複数の場合は代表者に 印を付けて下さい)

連絡先 : 部署 _____

住所 _____

TEL

FAX

E-mail _____

交流会参加について (会員 : 無料、非会員 : 2,000 円)

参加する

参加しない